

令和元年度 前期 学校評価アンケートの結果お知らせ

・前期アンケートにご協力ありがとうございました。下記のような結果となりましたのでお知らせいたします。

児童アンケート		保護者アンケート		教員アンケート		
評価項目	よく当てはまる + まあまあ当てはまる	評価項目	よく当てはまる + まあまあ当てはまる	評価項目	よく当てはまる + まあまあ当てはまる	
1	元気に学校に来ている。	95.2%	お子さんは、元気に学校に通学している。	100.0%	児童は、元気に学校に来ている。	100.0%
2	授業はわかりやすい。	85.7%	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	85.7%	授業がわかりやすくなるよう工夫している。	100.0%
3	「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習している。	76.2%	お子さんは、「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習している。	52.4%	「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習できるようにしている。	100.0%
4	自分の考えやまとめを書いている。	81.0%	お子さんは、自分の考えや授業のまとめをノートに書いている。	71.4%	児童が、自分の考えや授業のまとめを書けるようにしている。	85.7%
5	家で学年のめあての学習時間の勉強をしている。	71.4%	お子さんは、家で学年のめあての学習時間（学年×10分）の勉強をしている。	42.9%	児童が、家で学年のめあての学習時間の勉強に取り組めるようにしている。	100.0%
6	元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりしている。	81.0%	お子さんは、家庭や地域で元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりしている。	71.4%	児童が元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりできるようにしている。	100.0%
7	友だちに対して、思いやりの心で行動している。（相手の気持ちを考えて行動している。）	71.4%	お子さんは、友達に対して思いやりの心で行動している。	71.4%	よさを認め合う場の設定や道徳教育の推進で、児童に思いやりの心が育つようにしている。	100.0%
8	友だちや自分のよいところや頑張っているところを見つけることができる。	85.7%	お子さんは、自分や友達の「いいところや、がんばっているところ」が言える。	76.2%	児童を認め励まし、自分の役割を果たせるようにしている。	100.0%
9	体育の時間やその他に時間に、めあてを持って粘り強く取り組み、体力がついてきている。	90.5%	お子さんは、放課後や休みの日に、体をよく動かし、体力がついてきている。	81.0%	体育の時間等に、めあてを持って粘り強く取り組み、体力がつくようにしている。	100.0%
10	感謝して、残さず給食を食べている。	85.7%	お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活を送っている。	81.0%	感謝して、給食を残さずに食べる指導をしている。	100.0%
11	地域のことを勉強したり、地域の行事に参加したりしている。	85.7%	学校は、家庭や地域との連携、地域の教育力の活用に努めている。	100.0%	計画的に地域教材や地域人材を活用した教育に取り組んでいる。	57.1%
			学校は、学校活動の様子を、便りやいろいろな場で伝える努力をしている。	100.0%	学校活動や児童の様子を、日常的な連絡や便り等で伝えている。	71.4%
					校務を効率よく遂行している。	88.9%

「元気に登校」「体力の向上」「情報発信」の項目については概ね良い結果となりました。

一方、「学習規律」「家庭学習」「思いやり」の項目ではまだ課題が残ります。子ども達が自分自身に優れた点に気づき、主体的に物事に取り組めるよう、下記「今後の方策」をはじめとした手立てを、日頃の授業や様々な活動の中でおこなっていきます。

これからも、子どもたちが学びの喜びを実感できる「安心・安全な学校づくり」を進めて参りますので、保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。

今後の方策
子どもたちへのはたらきかけをこれまで通り継続しつつ、少人数であることのメリットを活かし、一人一人の思いに寄り添った取り組みをより充実させていきます。
どの子にもわかる授業（ユニバーサルデザイン）の視点を取り入れた授業づくりをします。計画的に研修を実施し、教材をより深く研究していきます。外部から講師を招いて授業づくりについて学び、それを活かしていきます。
学習の土台となる「学びの6か条」の意義を子どもたちと再度確認します。高学年をよいモデルとして、良い姿を全校で共有します。取組結果を見て分かる形にし、取り組みへの意欲を高めます。
「書くこと」について、一人一人に合った方法を考え指導します。連絡帳の一行日記や、放課後学習で短い作文を書かせ、書くことに少しずつ慣れさせます。チャレンジタイムで計画的に、書く問題に取り組んでいきます。
まず毎日宿題をしてくる習慣がついたことを褒め、次に学年目標時間に挑戦するよう働きかけます。取り組みは、5日間達成できるまで継続して続け、できたら、その努力を認め、褒めていきます。
あいさつが、いつでも、どこでも、だれとでも、何度でもできるよう指導を続けていきます。場面に応じたあいさつ、気持ちのよい空気が生まれるようなあいさつとはどんなあいさつか考えさせます。
自分がどうされたら嬉しいか、相手の気持ちになって考えることや、場面に応じてどう行動したらよいのかを判断する経験を積ませます。授業の中で自己有用感を感じる場、共感的な人間関係を育む場を設けていきます。
普段から相手のいいところを見つけたら、自分から話す練習をします。今日のふりかえりなど、生活の中の様々な場面で、素直に互いのよさを伝え合えるような優しい人間関係を作っていきます。
現在の取り組みを継続するとともに、運動への参加意欲を高めるために、体育の学習で個に応じためあてを持たせるようにし、達成感のある授業の工夫をします。
給食時の挨拶については、継続して指導します。給食を残してしまう児童については、個別対応を工夫します。「保健だより」等を活用し、子どもたちの生活習慣の改善について今後も保護者の皆さんに協力を依頼していきます。
地域の「人・物・こと」を学習計画の中に反映することで、地域学習を進めていきます。特に、道徳や総合的な学習に地域の「人・物・こと」を活かす授業づくりを工夫します。
現在の取り組みを継続し、さらに学校だより等の紙面構成や内容、発信のタイミングの工夫やホームページの更新など、より良い情報発信に向けての努力をします。